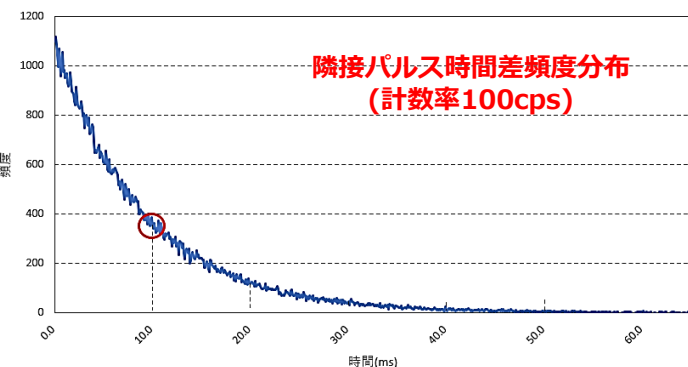


## APN6001

デジタル信号処理によって放射線計測特有のDecayパルスを生成します。フロントパネルに液晶表示器を備え、任意の波高値・Risetime・Decay・周期を表面パネルにより設定。

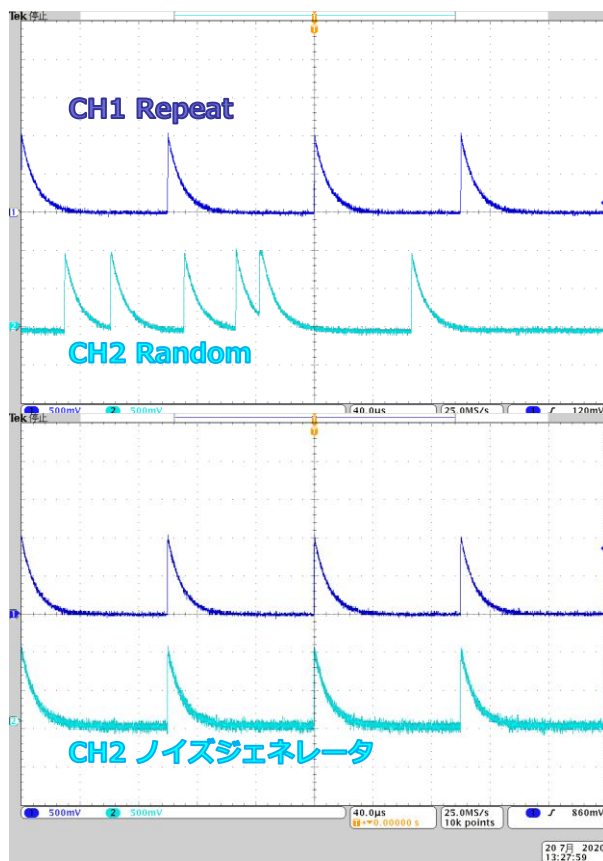
### 特長

- FPGAによる指数乱数発生アルゴリズムにより放射線発生事象の生起間隔の確率事象を再現。
- FPGAによるホワイトガウスノイズ発生アルゴリズム



### 仕様

出力	2チャンネル
出力インピーダンス	50Ω
Count Rate	1cps ~ 1Mcps (1Hz ~ 1MHz)
モード	Random or Repeat
ランダム分布	指数分布
パルス形状	立ち上がり、立ち下り時間が調整可能なテールパルス
オフセット	±0mV ~ 1000mV
ランダムノイズ	±0mV ~ 122mV
遅延	10us ~ 650us
Decay	100ns ~ 130us
Risetime	10ns ~ 500ns (10ns毎に変更可能)
Amplitude	±1mV ~ 1000mV
外部トリガー	入力インピーダンス 10kΩ
トリガー出力	1Vパルス, 立ち上がり500ns
消費電力	+ 2V (2A)
寸法・重量	6.85(W)x22.1(H) cm *NIM2幅 約1033g



※写真はイメージです。  
※記載内容は予告なく変更することがあります。

## 株式会社テクノエーピー

〒312-0012茨城県ひたちなか市馬渡2976-15

TEL:029-350-8011 FAX:029-352-9013

[info@techno-ap.com](mailto:info@techno-ap.com)



<https://www.techno-ap.com>

